

# 調査研究部の取組

昨年度と本年度の身に付けさせたい項目を分析することで、体験活動の視点を考えたり、重点内容項目を検討したりするための資料とした。

## 1 保護者・職員が児童に身に付けさせたい項目

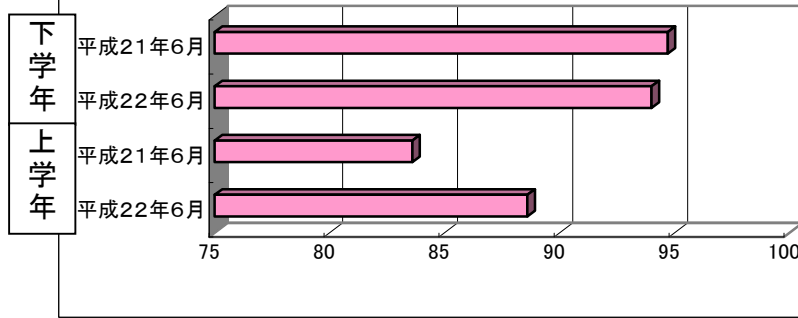
宝江小学校児童に努力してほしい項目平成21年6月 宝江小学校児童に努力してほしい項目平成22年6月



本校児童は、明るく素直であり、勤労意欲も旺盛で自分がやらなければならない仕事や課題には熱心に取り組むが、やや積極性が不足していると考えられる。保護者や職員は、礼儀正しく親切で、人と助け合うことができる子どもに育ててほしいという願いをもっている。

## 2 児童の意識調査

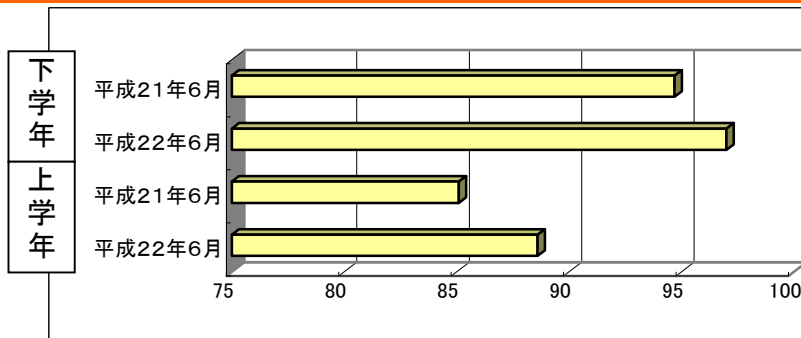
### ① 人が困っているときは、進んで助けてあげる。



昨年度と本年度を比較することによって、児童の意識にどのような変化が見られたかを分析し、指導の改善に役立てる。

困っている人を助けたいという気持ちはあったが、なかなか行動に移せなかった。少しではあるが上学年で増えてきた。

### ② 児童会や学校行事等において学校の一員としての役割や責任をしっかりと果たしている。



特に高学年では、「役割・責任」を重点内容項目として指導してきた成果が実践力として現れ、児童の意識改善にもつながったと考えられる。

## 3 Web図による児童の変化

連綿に関する調査

○この調査は、テストではありません。学校の成績とは関係ありません。自分が思ったことをたくさん書いてください。

○紙の真ん中にある円に書いてある言葉と自分が関係あると思ったことをどんどんとつなげて書いてください。

○言葉と言葉をつなぐときは、線を引いてつなげてください。

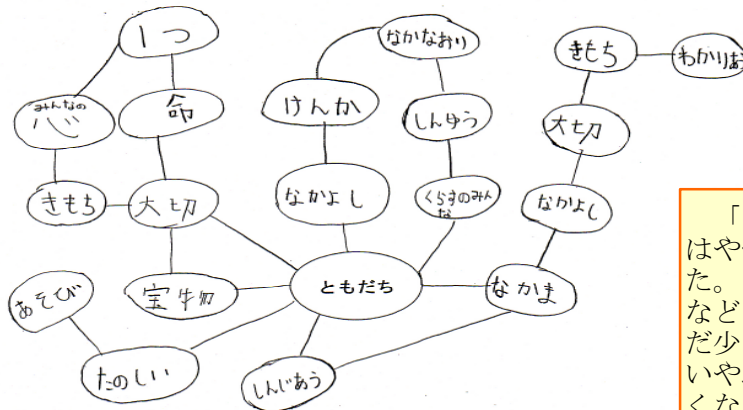
○1つの言葉とつなぐつなぐ言葉がつながってながっていきます。

○時間は、10分間です。できるだけ多くつなげるように言葉をつないでください。

年 名 姓

記入例

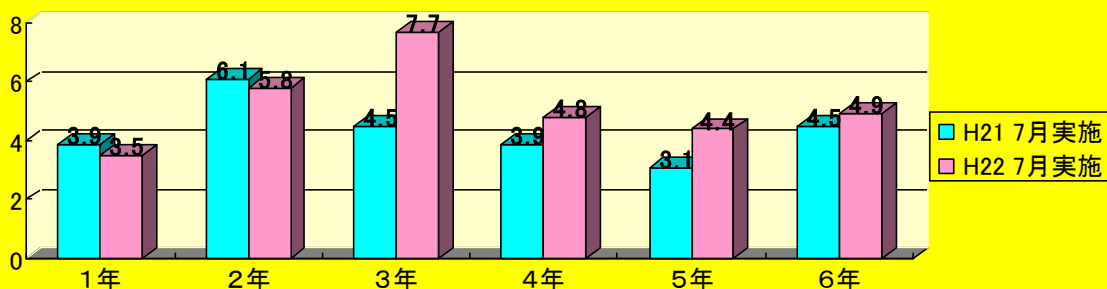
- 左の図のように線をついてください。
- 白線は、ピアノを弾くことができるようになりました。こんな言葉が思いつきました。
- イテロー選手の話など、人の家業、友達の話でもいいです。



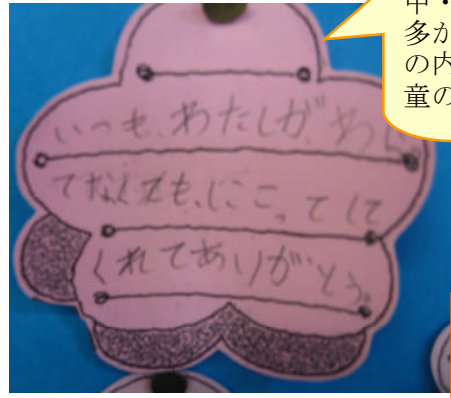
「ともだち」をキーワードにして連想する言葉の数や内容を分析することで、児童の価値観の広がりや深まりを把握した。

「ともだち」から派生した線の数はやや増加し、言葉の種類も増加した。しかし、「友情・信頼・協力」などの項目に関する言葉が、まだまだ少ない。普段の学習から、学び合いや助け合いを意図的に設定していくなどの工夫改善が必要である。

「ともだち」から派生した線の数



## 4 思いやりの木



中・高学年の保護者の願いが多かった「思いやり・親切」の内容項目に焦点を当て、児童の意識の変容を探った。

「～をしてくれてありがとう」だけでなく、いろいろな思いやりの姿を見つけることができるようになった。

「思いやりの木」に書かれた言葉

- 低学年 4月「けしごむをひろってくれて、ありがとう」  
9月「ひとりでいたとき、いっしょにあそぼうといってくれて、ありがとう」  
中学年 4月「きょうか書をわすれたとき、見せてくれて、ありがとう」  
9月「うたをうたっているとき、いいこえだねとほめてくれて、うれしかった」  
高学年 4月「ぐあいが悪いとき、保健室につれていってくれて、ありがとう」  
9月「たからえ運動をみんなによびかけていたのが、とてもいいことだと思った。」

## 成果と課題

### 1 特別活動と道徳の時間との関連付けについて

- 「全体計画」→「別業」→「指導構想」→「単元計画」→「指導計画」という流れにより、それぞれの指導のねらいが明確になり、関連付けて指導をする際の視点がとらえやすくなった。
- △ 重点内容項目だけでなく、他の項目についても「指導構想」を作成していきたい。

### 2 特別活動を核とした体験活動の充実について

- ワークシートを活用して、その活動にかかわりのある道徳的価値についてのめあてを立て、振り返りを行わせたことにより、活動の視点を児童に示すことができた。
- △ 一つの活動に対して、児童が気付く多種多様な道徳的価値へ対応の仕方を工夫していきたい。

### 3 道徳教育推進教師を中心とした全校指導体制について

- 全体計画等の作成、指導用教材の保管、指導計画への朱書きによる改善など、その都度声を掛け合って全職員で指導体制を整えてきた。
- △ 体験活動を関連付けた道徳の時間の指導の在り方について、コーディネートしていきたい。

### 4 研究の成果と課題の把握について

- 様々な調査研究により、児童の道徳に関する意識が明確になり、重点内容項目の策定につながった。
- △ 長期による変容だけでなく、短期の変容を見取る調査の在り方も検討していきたい。

## 研究同人

【平成22年度】

校長 小野寺 雄一	教頭 狩野 孝信		
佐藤 信義 三浦 英理佳	村上 喜久美 進藤 俊博	若生 淑子	皆川 佐恵子
野里 恵二 佐藤 千恵	小野寺 奈々 高橋 慎	佐藤 亜沙美	中荒井 清子
菊地 昭夫 千葉 麻奈美	亀卦川 浩江		

【平成21年度】

教頭 村岡 康			
菊池 茂利子 千葉 洋子	小松 英明 石川 欣美	小玉 かおる	名生 温子
千葉 八千代 小野寺 真理			